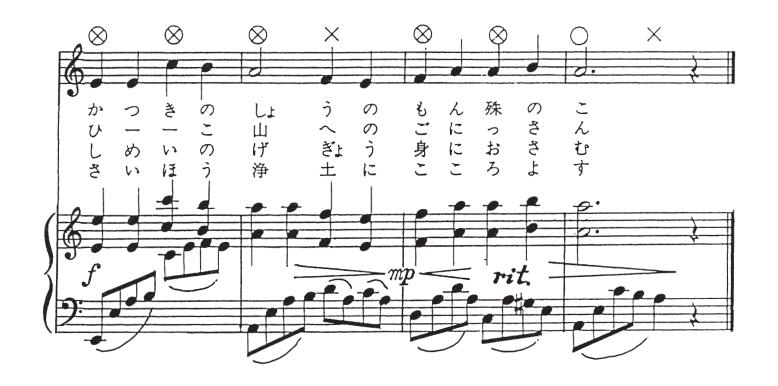
二祖鎮西上人鑽仰御和讚





(歌詞は104ページ)

ポイント注意

子守唄風のやさしいリズムにのってしんみりと唱えます。

に そ ちんぜいしょうにんさんごう 一祖鎮西上人鑽仰和讃

大本山善導寺第六十五世應營上人藤堂俊章大僧正御作

- 1 観ぜ音寺に詣でては 新りをこめし交替の 願いかないて誕生ましし 香剤の住の文殊の克
- 5 五重の塔の再建を 動進し給う明星寺 を登置の本尊迎えんと 上洛し給う康慶宅

- 6 三十六歳 望光房 法然ひじりを訪ねては その学徳にひれ伏して 師弟の契り結ばれぬ
- 10 七十七歳を一期とし 西の都に往き給う 還り来たりてはらからを 済度し給えご崇国師

- 3 比叡の世に登りしは 第一次二年の二十二歳 証真法的 師となりて 四朝の解行 身に修む
- 7 教えを受けて八ケ年 帰りて筑後 善導寺 絵仏の声 洋洋と 勧化の譬れ世に高し
- 4 二十九歳 猫道 学頭となりて異一弟の 学頭となりて異一弟の 学前房の頓死を見 西方浄土に心寄す
- 8 白川河の往生院 投手的の書を編み給い 三祖良忠上人に 器瀉瓶の法を伝え

(楽譜は102ページ)